

ひょうご農業委員会 女性ネットワークだより

ひょうご農業委員会
女性ネットワークについて

発足：平成19年3月、平成28年度名称変更
役員：会長・高尾利美(豊岡市農業委員会)、副会長・藤木悦子(宍粟市農業委員会)、
副会長・松田 静(赤穂市農業委員会)

ひょうご農業委員会女性ネットワークの会長が交代しました

就任ごあいさつ

豊岡市農業委員 高尾 利美



16年前に初めて農業委員となって、当時の「ひょうご女性ネットワーク」に参加した時のことを思い出しています。各地の女性委員さんと交流を重ねるうちに、それぞれ環境や条件が違う中でも活躍されている姿がとても輝いて見えたこと、そして自分にとって今後の活動や取り組み方のヒントを学ぶことで、何もわからないまま農業委員になったという重たい気持ちが少しずつ軽くなったものでした。

今回、会長という大役をお受けすることになりましたが、兵庫県内はもちろん近畿や全国の方々にお会いする機会が増えたことで少しでも知見を広げ成長する機会をいただいていると感じています。

地域計画の策定が各地で始まっています。みなさまのお力を得ながら女性委員を一人でも多く増やし、女性が活躍できる場をさらに広げていければと思います。よろしくお願いたします。

退任あいさつ

丹波篠山市農業委員 大西 富美子



私は、この女性ネットワークの会長を6年間務めさせていただき、この度の役員改選で会長を退任することになりました。私がはじめてこの女性ネットワークの会議に参加した時に、各地域の皆様が特産品を持ち寄って情報交換したことが一番思い出に残っています。その後、コロナで3年間、会議が出来なかったことを大変残念に思っています。

県の農業委員会組織においては、全体からみるとまだまだ女性の委員さんが少ないです。今後、農業委員会組織においては多くの女性委員の参画が不可欠です。活動するには周囲の意識を変えていくことが重要だと思っています。丹波篠山市でも令和6年度に改選を迎え、女性の委員が2名から5名になる予定で、女性委員が増えることを大変うれしく思います。

私事ではございますが、3月末で農業委員の任期満了を迎え、退任することになりました。農業委員として4期12年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。



左から藤木副会長、高尾会長、松田副会長

任期は、3年後の農業委員会の統一改選の年の最初の交流会までとなります。

役員改選結果

	改選前	改選後
会長	丹波篠山市 大西 富美子	豊岡市 高尾 利美
副会長	豊岡市 高尾 利美	宍粟市 藤木 悦子
副会長	加古川市 坂田 順子	赤穂市 松田 静



令和5年度第1回女性委員交流研修会
4年ぶりの開催

ひょうご農業委員会女性ネットワークは、令和5年10月12日に神戸市のラッセホールで、令和5年度第1回女性委員交流研修会を開催し、県内の農業委員会の女性委員17人が出席しました。

令和5年度は、農業委員会の統一改選の年で、7月までに県内の19の農業委員会が改選を迎えました。情勢報告として、事務局から女性委員の登用状況を報告し、3年前の同時期よりも女性委員が6人増えていることや女性の会長職務代理者が7人に増えていることなどを報告しました。

その後、参加者を3つのグループに分けて、①先輩委員に聞きたいこと、②1期目の委員に伝えたいこと、③私の町の農業委員会活動、④女性委員を増やすにはをテーマにグループディスカッションを実施しました。

参加者からは、「初めての参加で何をするのか不安でしたが、他市町の女性委員さんとお話しできて参考になりました」「同じ農業委員会でも地域によって活動内容も様々なんだとわかりました」「和気あいあいとした雰囲気ですごく意見交換できた」といった感想が寄せられました。

最後には、ひょうご農業委員会女性

ネットワークの役員改選を実施しました。(1ページ参照)



茶話会のような雰囲気で意見交換

令和5年度第2回女性交流研修会

令和6年3月12日に神戸市のラッセホールで、令和5年度第2回女性委員交流研修会を開催し、県内の女性委員18人が出席しました。

最初に、公益社団法人ひょうご農林機構の前田美嘉専門員が、女性農業者の活躍事例と女性農業者が活用できる事業(ひょうご輝く女性農業者活躍促進事業)を紹介しました。

その後、グループディスカッションを実施し、①女性の登用について、②地域計画について、③ひょうご農業委員会女性ネットワークでやってみたいことなどについて意見交換しました。

参加者からは、「前回参加して、交

流会独自の情報交換ができるので楽しみと期待を持って参加しました」「会を重ねる度に連帯感が生まれてきたように感じます。もっとたくさん参加してほしいです」といった意見がありました。

ひょうごで輝く女性農業者
活躍促進事業の概要

地域で女性新規就農者の確保・育成を図るグループが、新たに次の活動に取り進む場合に、1グループあたり10万円を上限に経費を助成します。

活動内容

- ①新規就農の機会提供(就農相談会の開催、相談ブースの開設など)
- ②生産技術・経営力向上のスキルアップ(研修会の開催、セミナーへの参加など)
- ③地域農業活性化の活動(新商品開発、食農教育活動など)

対象者(次の全てを満たすグループ)
①45歳未満の女性農業者が1名以上いること

- ②構成員が3名以上いること
- ③代表者が兵庫県在住で、構成員の過半数は女性農業者であること

お問い合わせは、公益社団法人ひょうご農林機構(078-391-1222)まで

近畿農政局 女性農業委員座談会
高尾会長が出席

近畿農政局は、令和5年11月15日と令和6年2月27日に、「女性農業委員

座談会」を開催し、近畿府県から女性組織代表者をそれぞれ1人募集し、意見交換を実施しました。本県からは高尾会長が出席しました。

コーディネーターには、京都府立大学生命環境科学研究科の中村貴子准教授を迎え、日頃の農業委員会活動の内容やそれぞれが抱える課題などについて報告したあと、女性の登用促進について意見交換をしました。

意見交換では、「女性の認定農業者が増えないと女性農業委員の登用は進まない」とや「農業委員会の活動が知られていない。地域の女性農業者に対して日頃から声掛けや情報提供をすることが大事」などといった意見が出されました。

また、女性委員の増加の要因として、中立委員での女性の登用が増えていることなどが挙げられました。



座談会の様子

東海・近畿ブロック女性の農業委員会研修会
愛知県で開催

東海・近畿ブロック女性の農業委員会研修会が、令和5年12月5日に愛知県名古屋市の名古屋銀行協会で開催されました。現地開催されるのは4年ぶり、東海・近畿から151人、そのうち本県からは6人が出席しました。

今回のテーマは、地域計画が本格化するなかで、話し合いが重要になることから、一般社団法人会議ファシリテーター協会代表理事の釘山健一さんが「明るく前向きな雰囲気」の座談会の「極意」と題して講演しました。

「会議」と「対話の場」の違いとして、会議は意見を言い合う場なのに対し、対話の場は思いを語り合う場であるとし、地域計画では、「思い」を語り合うことが大事だと説明しました。同研修会は、開催地を東海と近畿で交互に実施しており、次年度は、奈良県で開催されます。



「意見は対立するが、思いは対立しない」と話す講師の釘山さん。

女性委員の登用促進研修会
都道府県の女性組織の役員が意見交換

全国農業委員会女性協議会と都道府県の女性委員組織は、1月16日～17日に東京都の主婦会館で、同組織の役員を対象に女性委員の登用促進研修会を開きました。全国から114人が参加し、本県からは高尾会長、藤木副会長、松田副会長と事務局が参加しました。

各ブロックから、改選を終えて女性の増加状況や女性委員の増加に効果があった取り組みについて報告がありました。

効果のあった取り組みとして、「農業委員会会長への要請」が40県と一番多く、続いて「市町への要請」が26県、

「現職の女性委員への継続依頼」が25県と続きました。

グループディスカッションでは、「今後、女性委員の登用を進めるために一番求められること」をテーマに意見交換し、「会長や男性委員の後押しが重要」や「女性の農業者グループなど推薦母体があると女性を出しやすい」といった意見があった一方、「農業委員の仕事が増えてきてやってほしいといいつらくなってきた」といった課題も出されました。



女性登用について意見交換

女性の農業委員会活動推進
シンポジウム

令和6年3月6日に、東京都の砂防会館で「女性の農業委員会活動推進シンポジウム」が開かれ、全国から

399人、本県からは6人が参加しました。

今回のシンポジウムは、「地域計画の策定・実現に女性の力を結集しよう」をテーマに開かれました。

埼玉県久喜市農業委員会の高橋七海農業委員が、「新米農家の視点で取り組む農業委員活動」と題して基調講演をしました。現在28歳の高橋さんは、大学卒業後にミャンマーに移住し、現地で起業を目指していた時に、主要産業にも関わらずスーパーに国産野菜を見ることが減多に置いていないことなどから農業に興味を持ち、帰国して就農。就農する際にお世話になった農業委員さんの推薦で自身も農業委員になったことや担い手が不足している地域や遊休農地の情報など農業委員になってから得られた情報がたくさんあることなどを紹介し、地区同士のつながり役や新規就農者のサポートをしていきたいと話しました。



新規就農者は、農地を預けても大丈夫だという信頼を得ることが大事と話す高橋さん

女性委員の登用状況
前年より11人増加

令和5年は、県内19の委員会で開催が行われ、令和6年1月1日時点での県内女性農業委員・農地利用最適化推進委員数は、前回の調査（令和5年1月1日）から11人増え、67人となりました。

女性委員が在任する農業委員会数は34委員会（全体の85%）で、前回と同様でした。2人以上の女性委員が在任する農業委員会数は20委員会（同50%）となり、前回より6委員会増となりました。

県内の農業委員に占める女性の割合は10・4%で、全国の13・9%に比べ3・5%、また、推進委員は、県内が1・2%で全国の3・8%に比べ2・6%とそれぞれ下回っています。

なお、国の農業委員に占める女性の割合の目標は、早期に20%、2025年度までに30%にすることになっています。



各農業委員会 農業委員・推進委員数一覧

(令和6年1月1日)

	農業委員会名	農業委員			推進委員			農業委員・推進委員合計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
	全 国	19,900	3,214	23,114	16,941	678	17,619	36,841	3,892	40,733
	女性委員割合	13.9%			3.8%			9.6%		
1	神戸市	16	3	19	31	0	31	47	3	50
2	尼崎市	11	3	14				11	3	14
3	西宮市	13	1	14				13	1	14
4	伊丹市	8	3	11				8	3	11
5	宝塚市	10	3	13	5	0	5	15	3	18
6	川西市	15	1	16				15	1	16
7	三田市	11	1	12	11	0	11	22	1	23
8	猪名川町	13	1	14	4	0	4	17	1	18
9	明石市	13	1	14	6	0	6	19	1	20
10	加古川市	14	4	18	18	0	18	32	4	36
11	高砂市	11	3	14	3	0	3	14	3	17
12	稲美町	12	2	14	17	0	17	29	2	31
13	播磨町	9	1	10				9	1	10
14	西脇市	13	1	14	12	0	12	25	1	26
15	小野市	8	0	8	15	0	15	23	0	23
16	三木市	10	2	12	16	0	16	26	2	28
17	加西市	7	2	9	15	0	15	22	2	24
18	加東市	15	0	15	12	0	12	27	0	27
19	多可町	17	0	17	12	0	12	29	0	29
20	姫路市	18	1	19	36	0	36	54	1	55
21	神河町	14	0	14	7	0	7	21	0	21
22	市川町	11	1	12	8	0	8	19	1	20
23	福崎町	10	2	12	5	1	6	15	3	18
24	相生市	11	1	12	6	0	6	17	1	18
25	たつの市	16	2	18	18	0	18	34	2	36
26	赤穂市	11	2	13	11	0	11	22	2	24
27	宍粟市	17	2	19	15	0	15	32	2	34
28	太子町	13	0	13	6	1	7	19	1	20
29	上郡町	10	0	10	7	0	7	17	0	17
30	佐用町	12	1	13	11	0	11	23	1	24
31	豊岡市	15	4	19	25	0	25	40	4	44
32	香美町	13	1	14	10	0	10	23	1	24
33	新温泉町	10	1	11	6	1	7	16	2	18
34	養父市	12	1	13	10	2	12	22	3	25
35	朝来市	12	2	14	13	0	13	25	2	27
36	丹波篠山市	18	1	19	19	1	19	37	2	38
37	丹波市	22	2	24	25	0	25	47	2	49
38	洲本市	18	1	19	18	0	18	36	1	37
39	南あわじ市	15	4	19	33	0	33	48	4	52
40	淡路市	19	0	19	19	0	19	38	0	38
	合計	523	61	584	485	6	490	1,008	67	1,074
	女性委員割合	10.4%			1.2%			6.6%		
								女性委員ゼロ市町		6